

**京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書**

平成22年4月14日

財団法人京都大学教育研究振興財団
会長 辻 井 昭 雄 様

京 都 大 学 総 長
松 本 紘

事業区分	平成21年度・大学全体計画事業助成			
事業名	大学間学术交流協定校との交流事業			
成果の概要	「成果の概要」以外に添付する資料 無 有()			
会計報告	事業に要した経費総額	2,060,000 円		
	うち当財団からの助成額	800,000 円		
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) ストラスブール大学		
	経費の内訳と助成金の使途について			
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)	
	招へい研究者渡航費	500,000	500,000	
	招へい研究者滞在費	300,000	300,000	
	派遣研究者渡航費・滞在費	1,260,000	0	
合 計	2,060,000	800,000		

成 果 の 概 要

京都大学総長 松本 紘

【大学間学術交流協定校との交流事業】

本学では、海外29カ国83大学3大学群と大学間学術交流協定を、また、300余りの機関と部局間学術交流協定を締結し、学術交流の進展を計っているところです。

その中で、ストラスブール大学（旧ルイ・パスツール大学）とは平成3年から、研究者の相互交流を行っております。

ストラスブール大学との交流については、日仏双方がますます研究交流に熱意を寄せております。今年度は派遣2名、招へい2名の実績がありました。このうち派遣については、ストラスブール大学からの経費負担となっています。同大学との関係は良好で、今後も活発な交流が行われるものと思われま

す。助成いただいている招へいについては、ウイルス研究所の教員が「RNAスイッチによる真核細胞の遺伝子発現制御」をテーマに、また化学研究所の教員が「統計的機械学習手法に基づく代謝パスウェイからの知識発見」をテーマに、それぞれ1名の研究者を受入れました。それぞれ最新の研究成果発表や共同研究、また白熱したディスカッション等を実施しました。

これら一連の交流事業を通じて、レベルの高い学術的ならびに実りのある人的交流を行なうことが出来ました。将来に向けても、これまで培ってきた人的ネットワークをベースとして、さらなる交流の発展が期待される

ところです。当事業を推進するにあたり、貴財団より多額の援助をいただきましたことに對し、深く感謝しますとともに、篤くお礼申し上げます。